

2020年6月8日

株主の皆さまへ

リオン株式会社
代表取締役社長 清水健一

ISS レポートに対する当社の見解について

当社は、本年6月24日に第99期定時株主総会の開催を予定しています。第3号議案として提案予定の「取締役に対する譲渡制限付株式の割当てのための報酬支給の件」に対して、Institutional Shareholder Services, Inc. 様（以下「ISS」）より反対推奨をする旨の英文レポートが発行されております。

つきましては、これらに関する当社の見解について、下記のとおりご説明いたします。

記

1. ISS レポートの内容

ISS は、当社が提案予定の譲渡制限付株式報酬制度の導入により、今後10年間にわたり毎年上限株式数を付与したと仮定した場合、株式報酬残高における希薄化率が5%を超えることについて反対推奨としています。

2. 当社の見解について

本議案は、株主の皆さまとの一層の価値共有を進めることを目的に、取締役に対して企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与するものであり、コーポレートガバナンス・コードの趣旨に則ったものであります。

このたび提案する譲渡制限付株式を付与するための報酬は、金銭報酬債権50百万円以内、発行又は処分する株式数100,000株以内としておりますが、これらはあくまでも上限であり、実際には当社の取締役の現金報酬上限額に対する支給実績の割合と同様に、当該上限金額あるいは株数に対して概ね5割前後で運用することを前提としております。したがって、そのような場合における希薄化率が5%を超えることはほぼないものと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、上記の点をご理解いただき、十分ご検討のうえ議決権を行使いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上